

復活の絆をつなごうキャンペーン
活動報告 その3



6月8日、9日

東北に元気をお届け！

「東北復興支援 横浜ベイスターズ応援ツアー」に
協力いたしました。

株式会社ありあけ
広報室



クリネックススタジアム宮城

先月より、プロ野球ではセリーグとパリーグのチームが対戦する交流戦が繰り返されています。横浜市をフランチャイズにするプロ野球「横浜ベイスターズ」も現在はパリーグのチームと戦っておりますが、その中で東日本大震災の被災地である楽天ゴールデンイーグルスとの試合が、6月8日と9日に仙台市宮城野区の日本製紙クリネックススタジアム宮城で開催されました。

この6月8日の試合にあわせて、横浜から仙台(東北)に元気を届けるという目的のバスツアーが実施されました。ツアー参加者は、1300名もの応募の中から抽選で選ばれた40組80名のベイスターズファン。ツアー参加者の交通・宿泊・観戦チケットは無料で、現地での



横浜駅を出発するツアーバス

飲食・お土産・近郊観光等を各自にご負担いただき、東北復興へのご助力をお願いするという主旨のツアーです。

また、ツアー参加者の皆様には、横浜スタジアムにおいてファン 5,000 名以上の皆様にご協力いただいた「JNN・JRN 絆プロジェクト」応援メッセージや、横浜市民・神奈川県民の善意による現地の野球少年たちへの野球道具やお届けするという役目もありました。

この東北復興を応援し元気をお届けするという目的に、当社も賛同し協力することとなり、仙台へお届けいただく商品にハーバーを 5,000 個提供させていただきました。

ツアーに先立ち前日の6月7日には横浜ベイスターズの選手が、仙台市宮城野区の避難所を訪問され、その際にも当社のハーバーをお届けしていただきました。



ツアー当日の6月8日、横浜は朝からあいにくの雨でしたが、仙台は快晴でした。横浜から持参したハーバー5,000個は15時30分ぐらいからクリネックススタジアム宮城のメイン広場などで配布開始。たくさんの仙台在住の楽天ファンの皆さんが配布ブースに集まっていただきました。すると、横浜から駆けつけたベイスターズのマスコット「ホッシーズ」君がブースを訪れ、商品のサンプリングをお手伝いしてくれました。ホッシーズくんはユニークなパフォーマンスで楽天ファンもベイスターズファンも問わずに交流し、記念撮影したりと場を盛り上げていただきました。

その後、横浜からのツアーの皆さんも到着。サンプリングブース前で結団式が開催されました。横浜ベイスターズ加地球団社長とともに、当社代表取締役会長の藤木も「横浜の



元気を仙台の皆さんにお届けしましょう」と挨拶。全員で「エイ・エイ・オー！」の掛け声で盛り上がります。

また、球場内の記者会見場で、野球道具とハーバーの贈呈式も行われました。ツアー参加者からの代表4名が横浜ベイスターズの加地社長とともに、野球道具と横浜からのメッセージフラッグを楽天野球団の池田副社長様へ贈呈しました。また、当社の代表取締役会長 藤木よりハーバー5,000個贈呈の目録が贈られました。

ハーバーのサンプリングは、試合開始前には終了し、ツアー参加者は各自試合を観戦。試合は楽天が田中投手の活躍で5-1で勝利。横浜ベイスターズは残念ながら負けてしまいましたが、今シーズン、しかもこの試合の数日前に横浜に入団した元楽天の中村紀洋選手が初打席初ヒットを放ち盛り上がりました。

翌日、ツアー参加の皆さんは仙台市内のグルメやショッピングを楽しんだということです。

今回、仙台のファンの皆さんにとっては初めてハーバーを召し上げる方も多く、手渡すと皆さん喜んでいただきました。また、横浜からのファンも「元気と支援をお届けする」という指名のもとでの参加ということが、人の役に立てるということにたいして喜んで参加されていたようです。

今後も、このような活動を支援していきたいと思います。

